

# 腰部脊柱管狭窄 自記式診断サポートツール

以下の項目は、腰部脊柱管狭窄を診断するための項目です。項目を読みながら、あなたの症状を考えてみてください。あなたの症状にあてはまる場合には『はい』に、あてはまらない場合には『いいえ』に○をつけて下さい。

- |  |    |     |
|--|----|-----|
| 1. 太ももからふくらはぎやすねにかけて、しびれや痛みがある。            | はい | いいえ |
| 2. しびれや痛みはしばらく歩くとつよくなり、休むと楽になる。            | はい | いいえ |
| 3. しばらくたっているだけで太ももからふくらはぎやすねにかけてしびれたり痛くなる。 | はい | いいえ |
| 4. 前かがみになると、しびれや痛みは楽になる。                   | はい | いいえ |
| 5. しびれはあるが痛みはない。                           | はい | いいえ |
| 6. しびれや痛みは足の両側にある。                         | はい | いいえ |
| 7. 両足の裏側にしびれがある。                           | はい | いいえ |
| 8. おしりのまわりにしびれがでる。                         | はい | いいえ |
| 9. おしりのまわりにほてりがでる。                         | はい | いいえ |
| 10. 歩くとき尿が出そうになる。                          | はい | いいえ |

# 自記式診断サポートツール

因子	重み付け
1.しびれや痛みはしばらく歩くと強くなり、休むと楽になる	5
2.しばらく立っただけで、太ももからふらはぎやすねにかけてしびれたり痛くなる	5
3.年齢(60歳以上)	4
4.両あしの裏側にしびれがある	3
5.おしりのまわりにしびれがでる	3
6.しびれや痛みはあしの両側(左右)にある	2
7.前かがみになると、しびれや痛みは楽になる	1
8.しびれはあるが痛みはない	1
9.しびれや痛みで、腰を前に曲げるのがつらい	-1
10.しびれや痛みで、靴下をはくのがつらい	-1

Cut off 值	LCS(+): 109例		LCS(-): 236例		計		感度	特異度	陽性尤度比	陰性尤度比
	24 22.0%	85 78.0%	236 100.0%	24 7.0%	321 93.0%	24 7.0%				
22点	22点 ≤ <22点	24 85	22.0% 78.0%	236 100.0%	24 321	7.0% 93.0%	22.0%	100.0%		0.780
21点	21点 ≤ <21点	31 78	28.4% 71.6%	2 234	33 312	9.6% 90.4%	28.4%	99.2%	33.560	0.722
20点	20点 ≤ <20点	53 56	48.6% 51.4%	4 232	57 288	16.5% 83.5%	48.6%	98.3%	28.688	0.523
19点	19点 ≤ <19点	63 46	57.8% 42.2%	5 231	68 277	19.7% 80.3%	57.8%	97.9%	27.281	0.431
18点	18点 ≤ <18点	73 36	67.0% 33.0%	9 227	82 263	23.8% 76.2%	67.0%	96.2%	17.562	0.343
17点	17点 ≤ <17点	82 27	75.2% 24.8%	9 227	91 254	26.4% 73.6%	75.2%	96.2%	19.727	0.258
16点	16点 ≤ <16点	87 22	79.8% 20.2%	12 224	99 246	28.7% 71.3%	79.8%	94.9%	15.697	0.213
15点	15点 ≤ <15点	95 14	87.2% 12.8%	17 219	112 233	32.5% 67.5%	87.2%	92.8%	12.099	0.138
14点	14点 ≤ <14点	97 12	89.0% 11.0%	28 208	125 220	36.2% 63.8%	89.0%	88.1%	7.501	0.125
13点	13点 ≤ <13点	101 8	92.7% 7.3%	36 200	137 208	39.7% 60.3%	92.7%	84.7%	6.074	0.087
12点	12点 ≤ <12点	103 6	94.5% 5.5%	54 182	157 188	45.5% 54.5%	94.5%	77.1%	4.130	0.071
11点	11点 ≤ <11点	107 2	98.2% 1.8%	73 163	180 165	52.2% 47.8%	98.2%	69.1%	3.174	0.027
10点	10点 ≤ <10点	107 2	98.2% 1.8%	89 147	196 149	56.8% 43.2%	98.2%	62.3%	2.603	0.029
9点	9点 ≤ <9点	108 1	99.1% 0.9%	123 113	231 114	67.0% 33.0%	99.1%	47.9%	1.901	0.019
8点	8点 ≤ <8点	108 1	99.1% 0.9%	144 92	252 93	73.0% 27.0%	99.1%	39.0%	1.624	0.024
7点	7点 ≤ <7点	108 1	99.1% 0.9%	154 82	282 83	75.9% 24.1%	99.1%	34.7%	1.518	0.026
6点	6点 ≤ <6点	108 1	99.1% 0.9%	161 75	269 76	78.0% 22.0%	99.1%	31.8%	1.452	0.029
5点	5点 ≤ <5点	108 1	99.1% 0.9%	166 70	274 71	79.4% 20.6%	99.1%	29.7%	1.409	0.031
4点	4点 ≤ <4点	109	100.0%	191 45	300 45	87.0% 13.0%	100.0%	19.1%	1.236	0.000

# 自記式診断サポータルツールの意義

- 腰部脊柱管狭窄を診断するための精度の高い自記式診断サポータルツールを開発
- 本サポータルツールを用いることにより、腰部脊柱管狭窄の大規模な疫学調査や患者の自己診断による早期治療が期待

# 本研究の目的

- 腰部脊柱管狭窄の自記式診断サポートツールを用いた大規模な疫学調査
- 腰部脊柱管狭窄の年代別有病率
- 腰部脊柱管狭窄の危険因子の推定

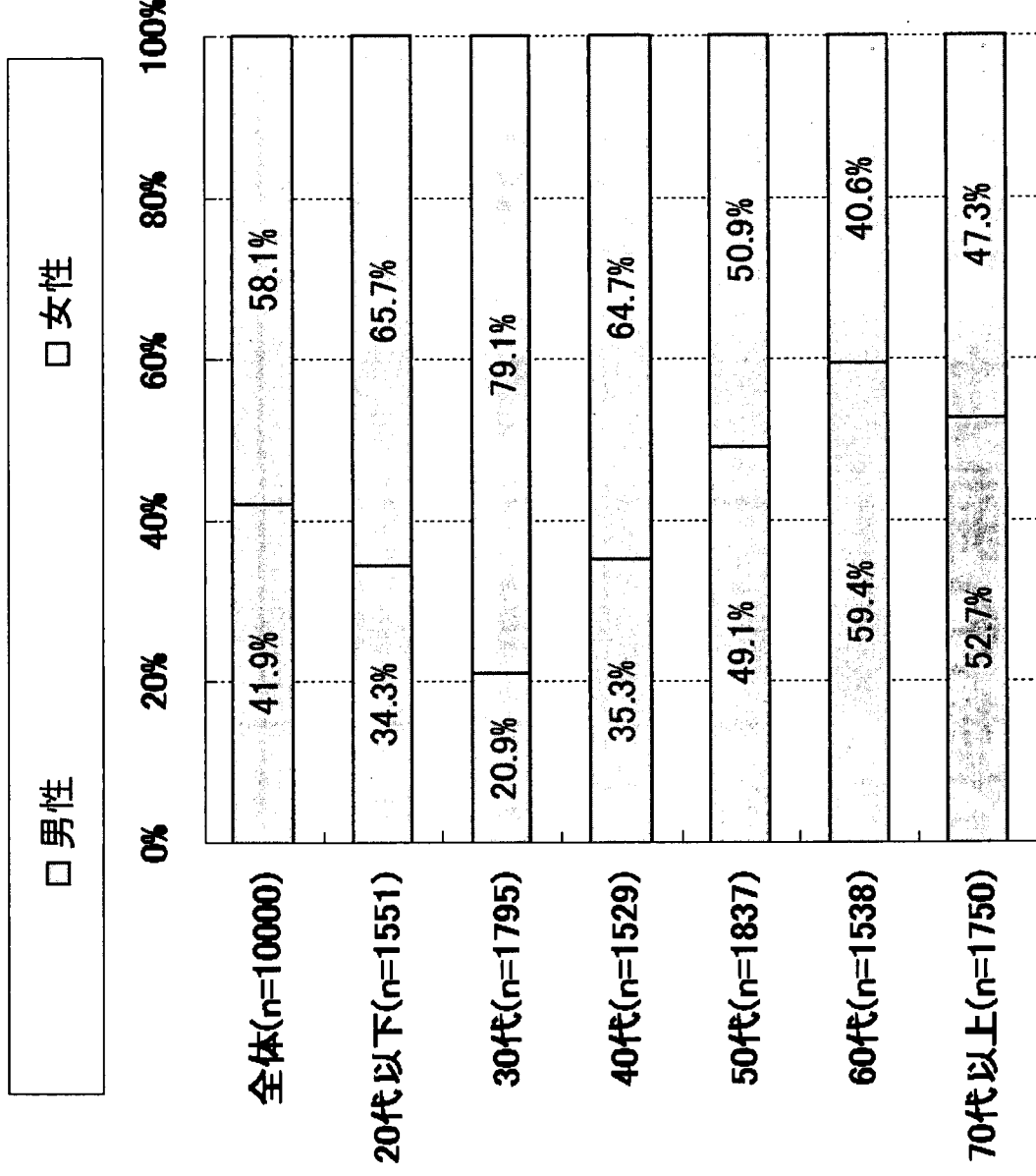
# 対象と方法

- **調査対象者**
  - 腰痛または坐骨神経痛等の下肢症状が1ヶ月以上続いている株式会社エム・シー・アイHealthcare 事業部に登録している一般住民約25000人
- **サンプル数**
  - 10000人
- **調査手法**
  - インターネット調査
- **調査時期**
  - 2007年8月～2007年9月
- **調査地域**
  - 全国
  - 層化二段無作為抽出法

# 地域の割付

	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
北海道・東 北	185	214	183	219	184	209
関東	504	583	496	597	499	568
中部・近畿	541	626	533	640	536	610
中国・四国・ 九州・沖縄	321	372	317	381	319	363

# 年代の割付





# 合併症・既往歴

腰痛・坐骨神経痛以外で、あなたが医療機関で診断されたことがある病気をお教えください。

「現在治療中」+「過去治療していた」の頻度

	高血圧症	高脂血症	糖尿病	気管支喘息	胃炎・潰瘍	うつ病	がん	該当なし
全体(n=10000)	21.9%	16.3%	8.0%	12.9%	31.6%	10.2%	5.4%	41.1%
20代以下(n=1551)	4.0%	3.8%	2.1%	15.0%	20.3%	14.5%	1.3%	62.1%
30代(n=1795)	4.3%	4.0%	1.5%	14.7%	28.3%	12.4%	1.6%	55.0%
40代(n=1529)	11.3%	12.5%	4.0%	13.3%	32.1%	11.2%	2.0%	47.2%
50代(n=1837)	22.9%	22.9%	7.9%	11.0%	35.5%	8.2%	4.2%	36.2%
60代(n=1538)	37.0%	27.1%	13.7%	11.3%	40.3%	7.8%	7.9%	26.9%
70代以上(n=1750)	50.7%	26.8%	18.8%	12.1%	32.8%	7.7%	14.6%	20.2%

 最も高いもの
  2番目に高いもの

# 医療機関での診断名

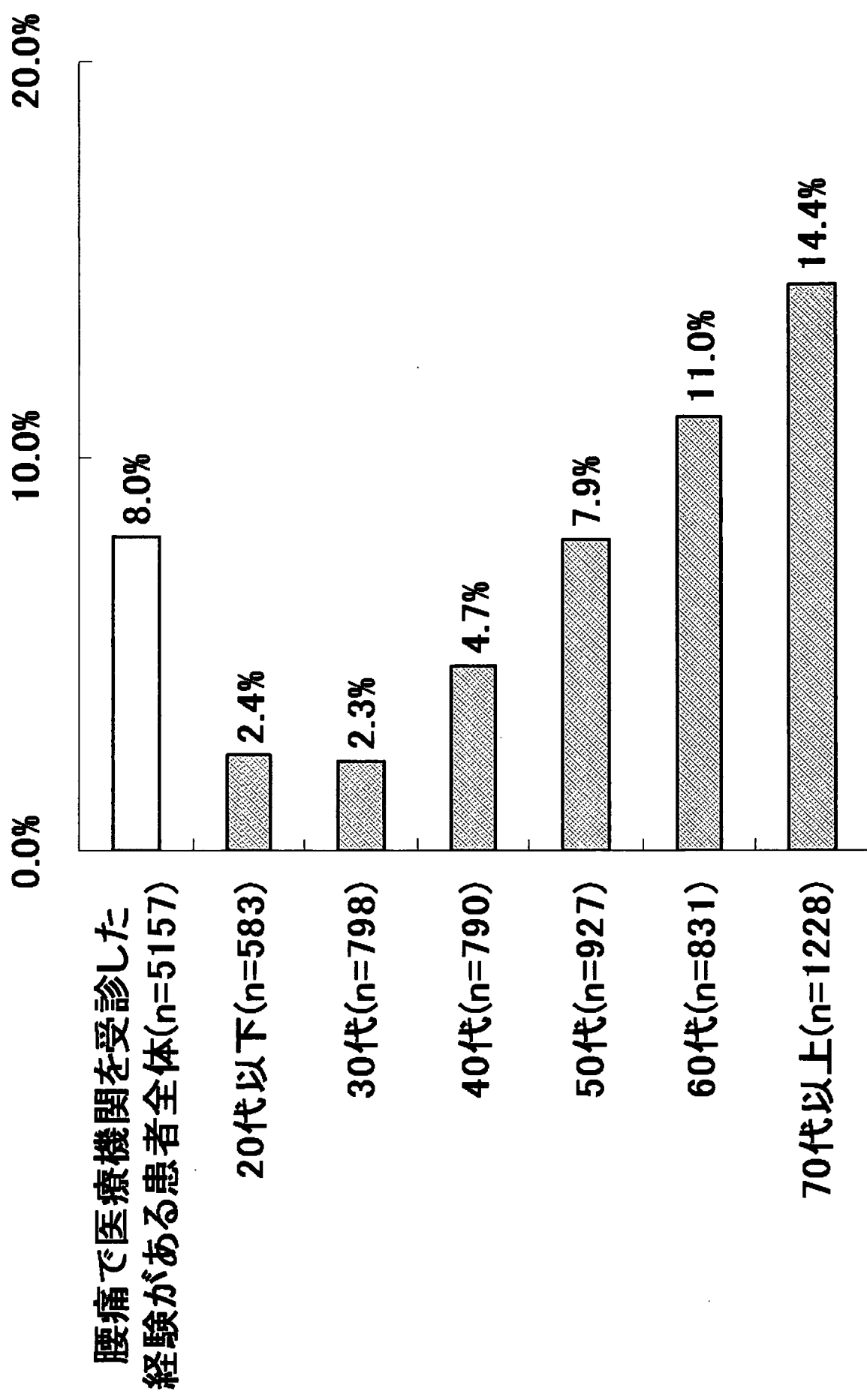
	腰痛症	急性腰痛症 (ぎっくり腰)	腰部脊柱管 狭窄症	変形性脊椎 症	腰椎分離症	腰椎変性 すべり症	腰椎椎間板 ヘルニア	坐骨神経痛	骨粗鬆症
全体 (n=5157)	42.9%	14.9%	8.0%	4.7%	2.7%	4.0%	26.0%	21.2%	5.4%
20代以下 (n=583)	49.4%	12.3%	2.4%	2.7%	3.1%	1.4%	27.1%	16.0%	0.5%
30代 (n=798)	46.7%	18.5%	2.3%	2.0%	3.4%	1.1%	28.7%	21.7%	1.5%
40代 (n=790)	45.3%	19.1%	4.7%	1.0%	3.2%	3.5%	33.4%	19.4%	2.0%
50代 (n=927)	37.3%	18.9%	7.9%	4.4%	2.7%	6.1%	29.9%	21.3%	1.7%
60代 (n=831)	39.2%	14.1%	11.0%	6.7%	2.6%	5.5%	25.3%	17.8%	6.0%
70代以上 (n=1228)	41.2%	8.5%	14.4%	8.6%	1.9%	4.8%	16.4%	26.7%	14.8%

最も高いもの

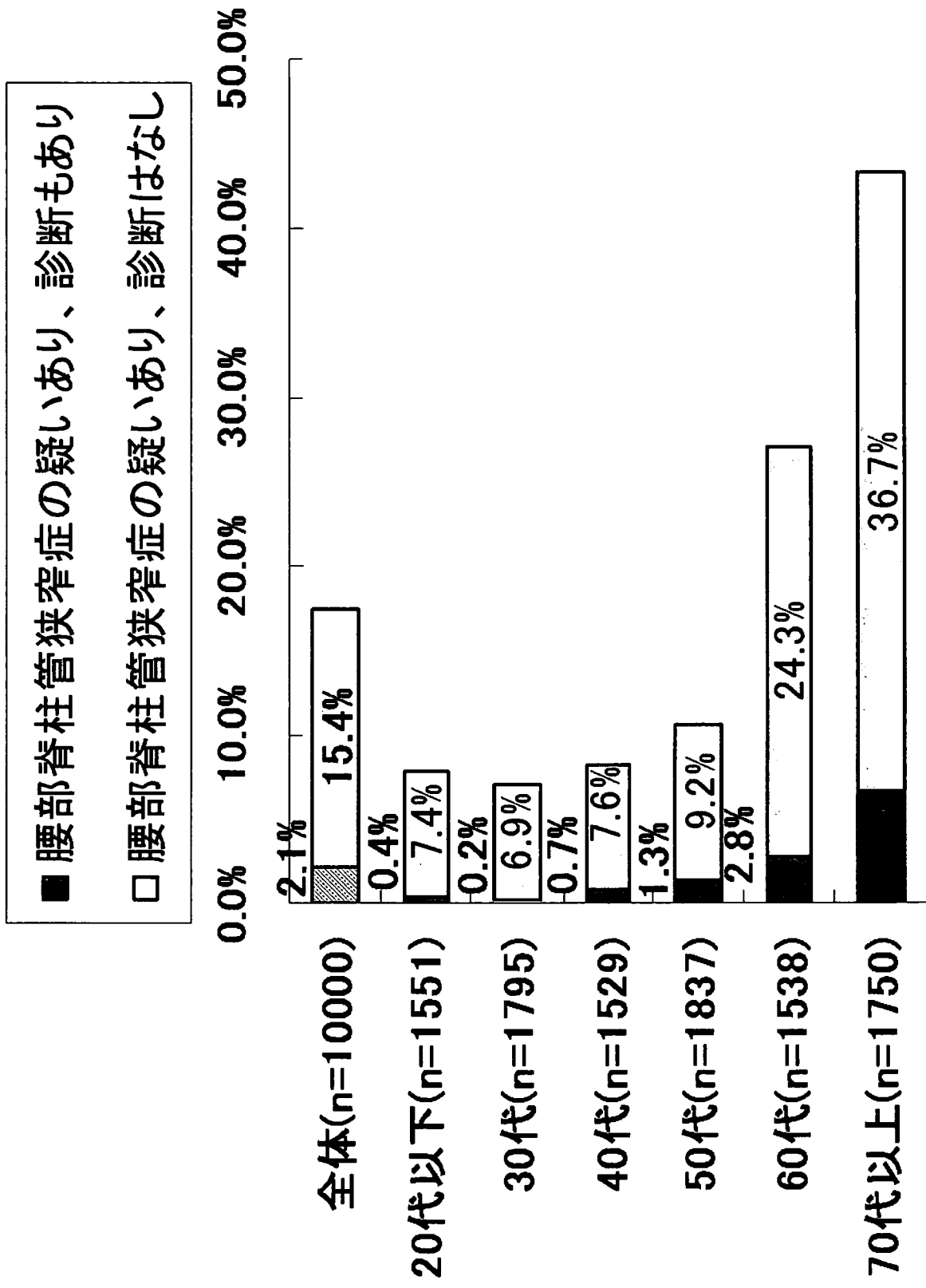
2番目に高いもの

3番目に高いもの

# 腰部脊柱管狭窄症と医療機関で診断された割合



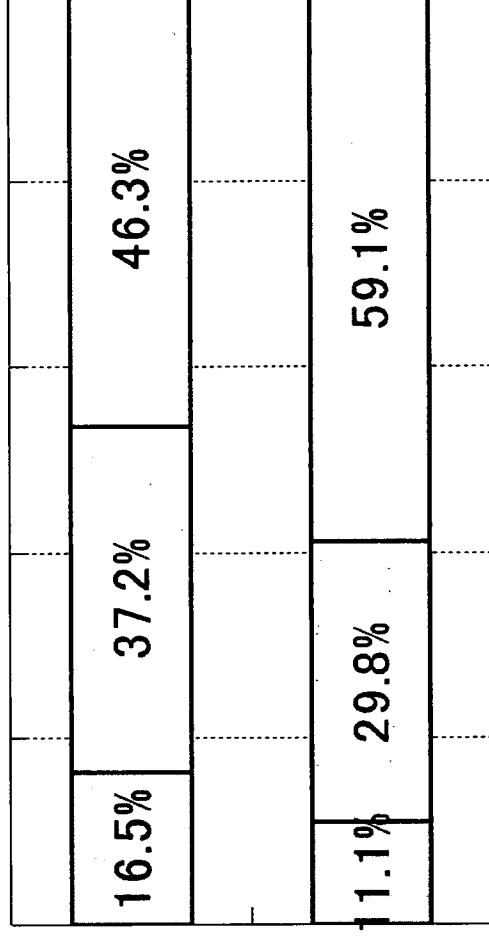
# 腰部脊柱管狭窄有病率〔自記式診断サポートツールによる〕



# 腰部脊柱管狭窄の認知率

- 病気の内容も知っている
- まったく聞いたことがない

0%    20%    40%    60%    80%    100%



腰部脊柱管狭窄症の疑いあり、  
診断はなし(n=1539)

腰部脊柱管狭窄症の疑いなし  
(n=8255)

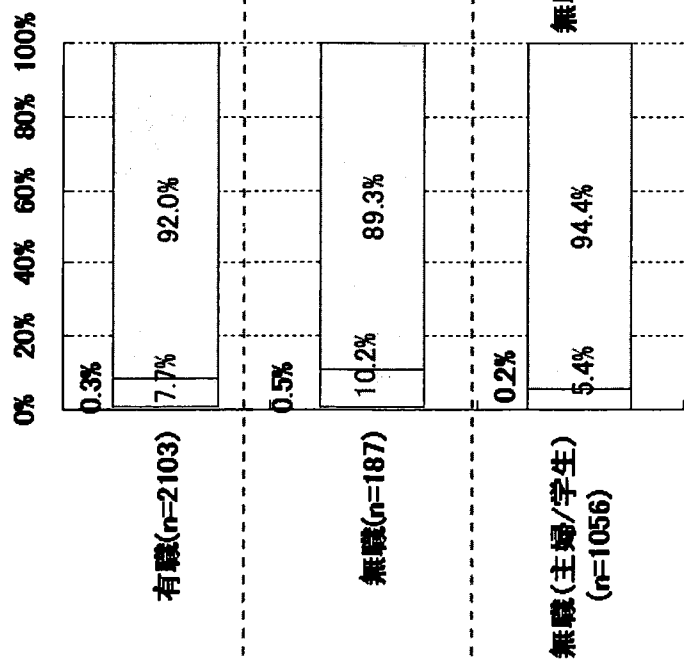
# 腰部脊柱管狭窄のQOL

		RDQ	SF36
非常に 支障あり	SCSの疑いあり、診断もあり( n=64)	16.39	43.46
	SCSの疑いあり、診断はなし( n=218)	16.47	46.56
	SCSの疑いなし(n=292)	12.33	51.72
やや 支障あり	SCSの疑いあり、診断もあり( n=126)	11.08	56.03
	SCSの疑いあり、診断はなし( n=985)	10.99	57.42
	SCSの疑いなし(n=3571)	6.42	62.37
あまり 支障がな い	SCSの疑いあり、診断もあり( n=16)	7.13	67.05
	SCSの疑いあり、診断はなし( n=315)	7.20	64.72
	SCSの疑いなし(n=3927)	3.25	68.79
全く 支障なし	SCSの疑いあり、診断もなし(n=0)	-	-
	SCSの疑いあり、診断はなし(n=21)	3.76	67.99
	SCSの疑いなし(n=465)	1.60	73.03

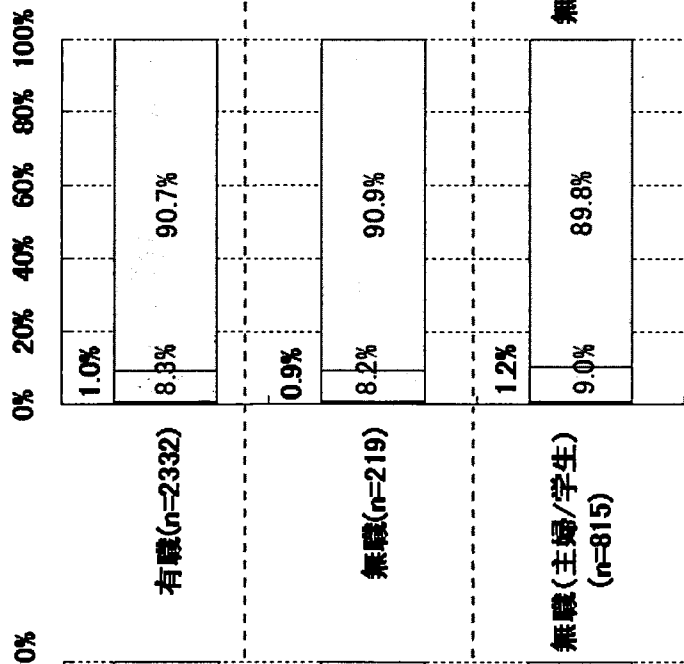
# 就業状況と腰部脊柱管狭窄

■ 腰部脊柱管狭窄症の疑いあり、診断もあり □ 腰部脊柱管狭窄症の疑いあり、診断はなし □ 腰部脊柱管狭窄症の疑いなし

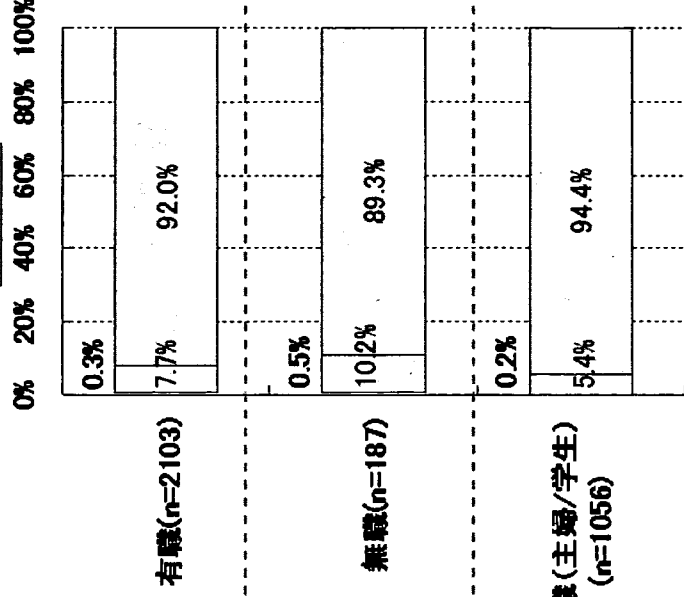
若年層



中年層



高年層



# 身体への負担とストレス(無職)

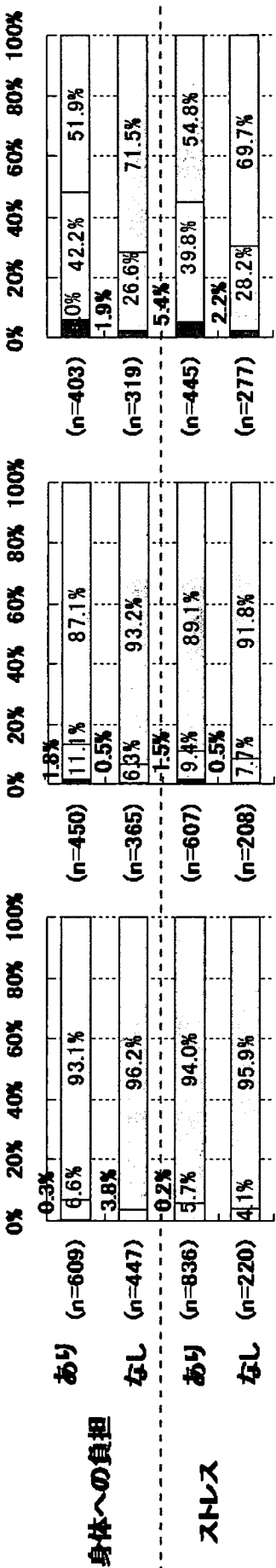
若年層  
(20代-30代)

中年層  
(40代-50代)

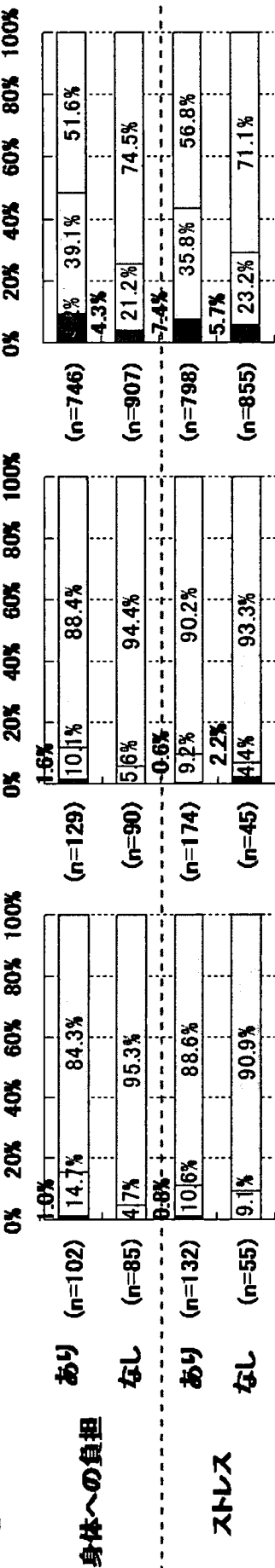
高年齢層  
(60代-70代以上)

■ 腰部脊柱管狭窄症の疑いあり、診断もあり □ 腰部脊柱管狭窄症の疑いあり、診断はなし □ 腰部脊柱管狭窄症の疑いなし

## 【無職(主婦-学生)】



## 【無職】





# 身体への負担とストレス(有職)

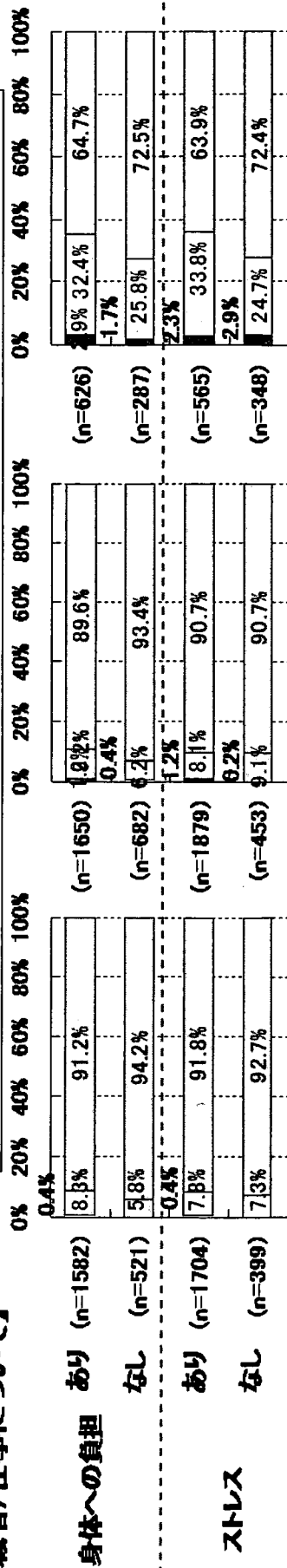
若年層  
(20代-30代)

中年層  
(40代-50代)

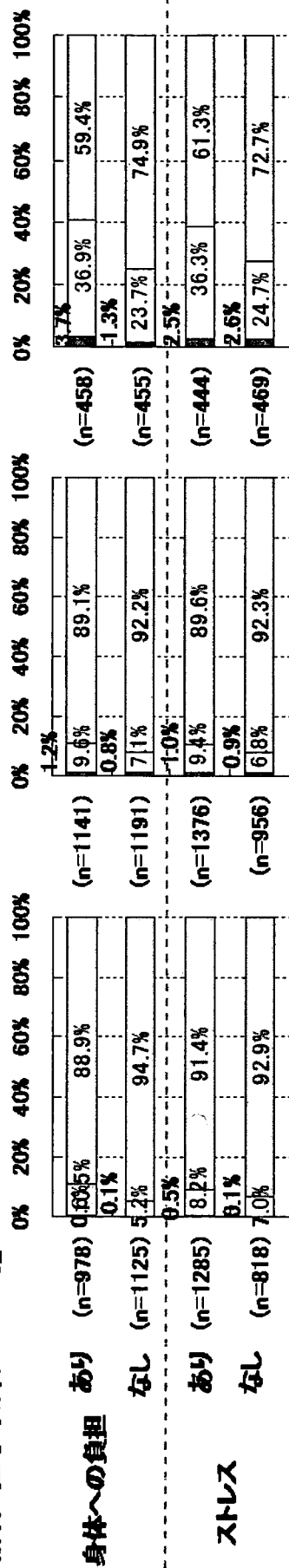
老年層  
(60代-70代以上)

## 【有職者/仕事について】

■ 腰部脊柱管狭窄症の疑いあり、診断もあり、診断もなし □ 腰部脊柱管狭窄症の疑いあり、診断はなし □ 腰部脊柱管狭窄症の疑いなし



## 【有職者/仕事以外について】



# 既往症と腰部脊柱管狭窄

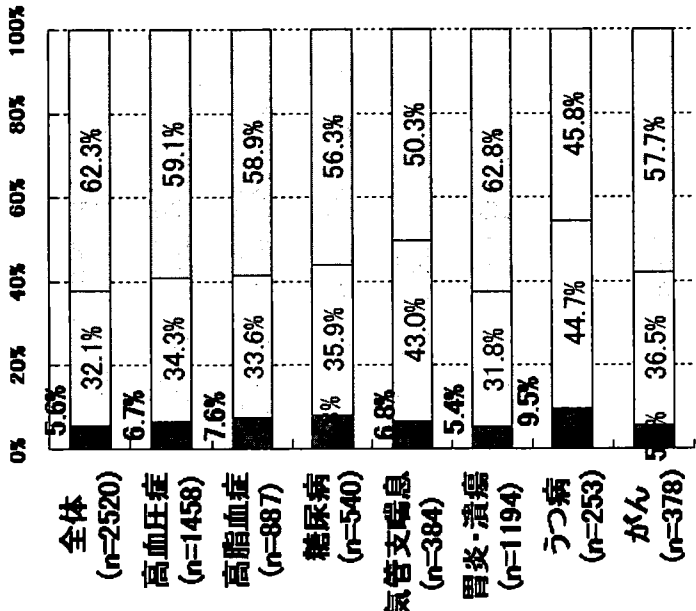
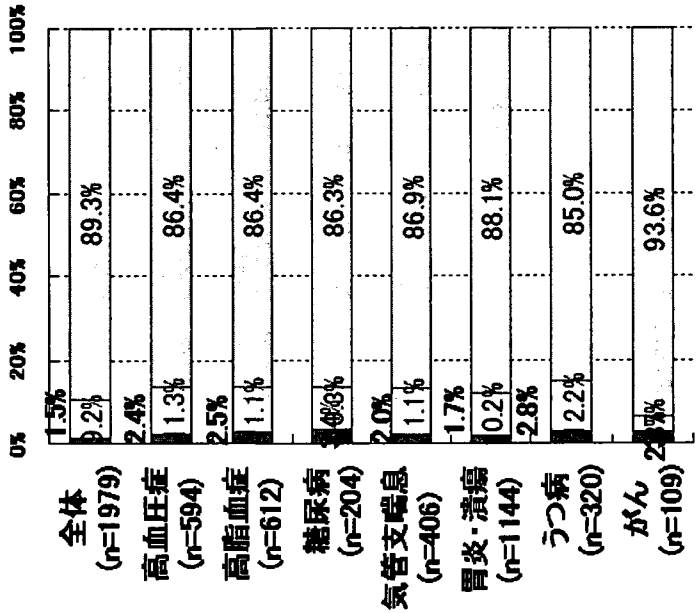
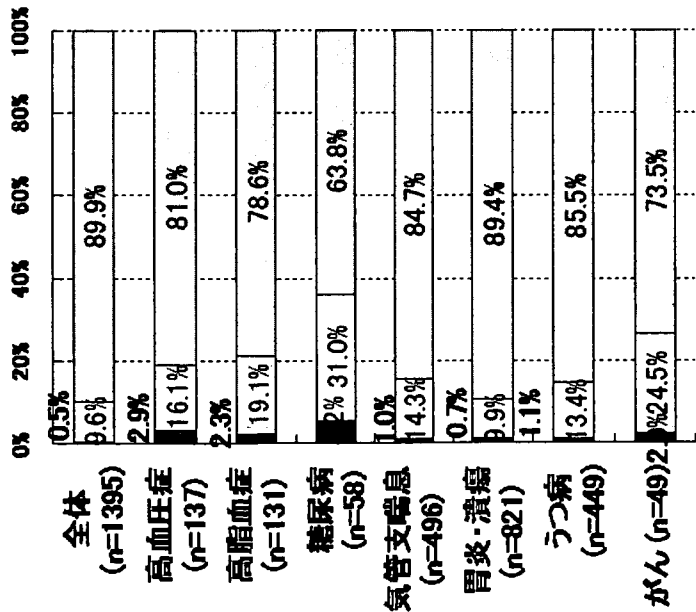
■ 腰部脊柱管狭窄症の疑いあり、診断もあり □ 腰部脊柱管狭窄症の疑いあり、診断はなし □ 腰部脊柱管狭窄症の疑いなし

## 既往症別

若年層

中年層

高年層



# まとめ1

- ✓ 腰痛または坐骨神経痛等の下肢症状が1月以上続いている患者のうち、腰部脊柱管狭窄の割合は17.5%であった。
- ✓ このうち、2.1%は医療機関で診断されていたが15.4%は医療機関で診断されていない。
- ✓ 腰部脊柱管狭窄症という疾患を知っていたのは、全体で43.9%であった。
- ✓ 年代別では、20代-30代は認知が低く、40代からは疾患認知があがり、年代が上がるに従い認知は高まる。

## まとめ2

- ・ 身体の負担やストレスが多いと、腰部脊柱管狭窄の出現率は高い。
- ・ 高齢者の腰部脊柱管狭窄では、気管支喘息とうつの頻度が高い。